

実技評価シート100点満点／認定基準：75点以上

評価の前提（必ず明記）

本評価は「正解の関わり」を測るものではない

クライアントが自分で考え、選び、決める力を促進し妨げていないかを確認する

A. 進行・構造（40点）

※問いの質は「構造・主体の置き方」として本項目内で評価する

評価項目	配点
会話の流れを安定して進行できている	10点
話題が拡散した際に整理できている	10点
沈黙を急いで埋めず、待っている	10点
課題・選択・決定の主体を相手に戻している	10点
加点になる具体例 相手が考えている沈黙を保ち、相手から再開がある 「今のお話を踏まえると、どこから考えたいですか」 「この中で、今一番大事そうなのはどれでしょう」	減点になる具体例 沈黙を不安で埋める 支援者が話の結論を持つ 整理せず次の話題に進める

B. 感情の扱い（20点）

評価項目	配点
相手の言葉を尊重して感情を確認している	10点
自分の解釈とすり合わせが行われている	10点
加点になる具体例 「今の理解で合っていますか？」 「そう感じた、という受け取りで大丈夫ですか？」	減点になる具体例 感情を拾わない 過剰な代弁 勝手なすり替え 会話が展開しなくなる